

地域戦略 [綾部地区]

綾部地区の里地里山

【自然環境】 なだらかで起伏に富んだ地形に、アカマツ林・コナラ林を中心に多様な土地利用・林分が混在した典型的な里山地域です。また、動物調査ではサシバなどの猛禽類とともに、淡水二枚貝に産卵する魚類などの絶滅危惧種が確認されました。この結果は、この地域の水田や用水路、河川、ため池などの水辺の環境が良好に保たれていることを示しています。



植林地と広葉樹林がモザイク状に分布する空山

(写真出典) 左上:「日本の野鳥」山と渓谷社、右上:滋賀県立琵琶湖博物館ホームページ電子図鑑、左下:神戸教育情報ネットワークホームページ「デジタル化神戸の自然シリーズ」

【里山利用の歴史】 古くから水陸交通路に恵まれていたことから、様々な林産物(薪炭、山菜、クリ、マツタケ等)を商品化することで成り立ってきた地域です。また、明治期には、乱伐により荒廃した里山にアカマツを植林して再生させた歴史もあります。

特用林産物の生産額(綾部市)

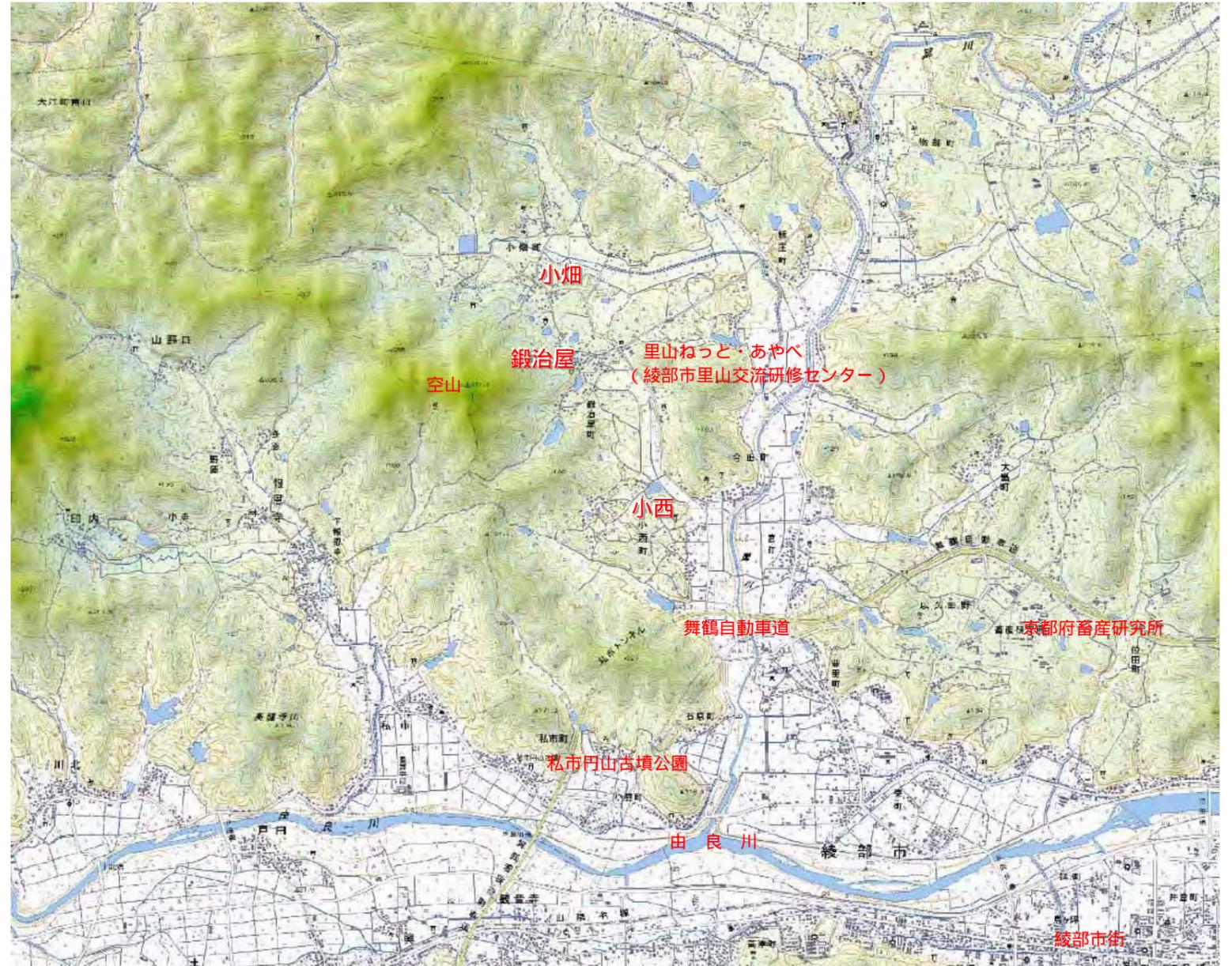
	生産量	京都府内 順位	京都府内 シェア
クリ	30.0 t	第1位	18.0%
マツタケ	1.4 t	第1位	25.0%

平成14年度京都府特用林産物生産実態

【市民活動】 綾部市の都市農村交流活動の拠点として設立された「里山ねっと・あやべ」では、米作りやソバづくり、石窯でのパン作り、田舎暮らし体験、森林ボランティア、古民家紹介など、里地里山の人と自然を生かした多彩な活動が行われています。



左:森林ボランティアによる炭窯製作
上:休耕田を利用したそば塾の活動(写真出典:里山ねっと・あやべホームページより)
右:インターネット上で農業体験ができる「ふぁーマーず・びれっじ」(写真出典:里山ねっと・あやべホームページより)



【景観】 由良川中流のなだらかな丘陵地帯であり、里山と農地、集落が一体となった典型的な里山景観がみられます。誰もが懐かしさを感じる原風景ともいべきものです。

